

* 市民活動推進補助事業 *

令和7年度
補助事業選考のための

公開フリセクション

日にち： 令和7年3月16日(日)

時 間： 13時00分～16時00分

場 所： 市役所本庁舎4階 会議室2～5

*** どなたでも会場・Webで傍聴することができます。 ***

進 行

- 13:00 開会
- 13:20 スタート支援（3事業）
- 14:24 ステップアップ支援（3事業）
- 16:00 閉会

お 問 い 合 わ せ

茅ヶ崎市くらし安心部市民自治推進課協働推進担当(市役所本庁舎4階)

0467-81-7126

E-mail: shiminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp



目 次

進行予定表	1
発表方法及び選考方法	2
茅ヶ崎市市民活動推進基金の概要	4
市民活動推進補助事業の区分と対象事業	5
茅ヶ崎市市民活動推進基金にご寄附いただいた方々	6
茅ヶ崎市市民活動推進基金 協力企業	7
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	8
スタート支援の部	10
茅ヶ崎CAD部	10
TAKURAMI 不動産	16
C3大作戦	24
ステップアップ支援の部	30
ちがさきこどもマルシェ実行委員会	30
湘南1Leben	36
にじカフェ	42

進行予定表

13:00 開会 （委員長あいさつ、委員紹介、進行及び選考方法についての説明 20分）

◆スタート支援の部

単位：円

発表時間	発表順	団体名	事業名	回数	総事業費	補助金 申請額
13:20	1	茅ヶ崎CAD部	3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！	1	135,300	100,000
13:38	2	TAKURAMI不動産	茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業 ～地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり～	1	122,000	100,000
13:56	3	C 3 大作戦	茅ヶ崎 段ボールコンポスト チャレンジ大作戦	1	153,405	100,000
休憩（10分）						

◆ステップアップ支援の部

発表時間	発表順	団体名	事業名	回数	総事業費	補助金 申請額
14:24	4	ちがさきこどもマルシェ 実行委員会	ちがさきこどもマルシェ	1	725,000	500,000
14:47	5	湘南 1 Leben	保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう	2	594,590	416,000
15:10	6	にじカフェ	人生を最後まで楽しむための「414カード死生観対話会」と「大切なものを見直す終活お話会」	1	448,362	358,000
休憩（7分）						

15:40 総括質疑（20分）

16:00 閉会（委員長あいさつ）

	総事業費	補助金 申請額
スタート支援 総額	410,705	300,000
ステップアップ支援 総額	1,767,952	1,274,000
合計	2,178,657	1,574,000

発表方法及び選考方法



発表方法

スタート支援

◆進行方法

- ①発表団体が、応募事業について説明を行います。（7分以内）

持ち時間残り1分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。

終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。

- ②発表後、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行っていただきます。

（8分程度）

◆説明方法

口頭、模造紙、パソコン（パワーポイント等）等

ステップアップ支援

◆進行方法

- ①発表団体が、応募事業について説明を行います。（10分以内）

残り1分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。

終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。

- ②発表後、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行っていただきます。

（10分程度）

◆発表方法

口頭、模造紙、パソコン（パワーポイント等）等

全団体終了後に、総括質疑を行います。



選考の視点と配点について

- ① 下表の各視点について、茅ヶ崎市市民活動推進委員会の各委員が評価します。

＜スタート支援＞ 20点満点

選考の視点	説明
1 公益性(5点×2)	事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。
2 発展性(5点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
3 費用の妥当性(5点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。 事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

＜ステップアップ支援＞ 30点満点

選考の視点	説明
1 公益性(5点×2)	事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。
2 発展性(5点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
3 費用の妥当性(5点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。
4 事業実現性(5点)	実施可能な方法・スケジュール・予算で事業計画が立案されているか。また、新たな視点や発想から提案されたものであるか。創意工夫がなされているか。
5 自立性(5点)	自己努力による資金確保に努めているか。

②審査を行った委員全員の評価結果から平均点を算出し、順位付けをします。

③満点の60%（スタート：12点、ステップアップ：18点）を補助事業に適する得点の目安とし、委員会による協議に基づいて採否相当を判断します。なお、「公益性」の得点が60%を下回っている場合は、合計点が補助事業に適する得点に達していても、不採択となる場合があります。

▶▶ 委員が審査する団体について

（茅ヶ崎市市民活動推進委員会規則 第7条）

○委員本人、配偶者、3親等以内の親族が所属する団体

○その他、直接の利害関係がある団体（委員による事前申告）

上記の団体については、公正性を高めるため、次のように扱います。

1	関係する団体の採点を行わない。
2	公開プレゼンテーションでは、関係する団体への質問は行うことはできない。また、委員自身がプレゼンテーションに関与できない。
3	選考会議（非公開）では、関係する団体の審議時に退席する。



選考結果

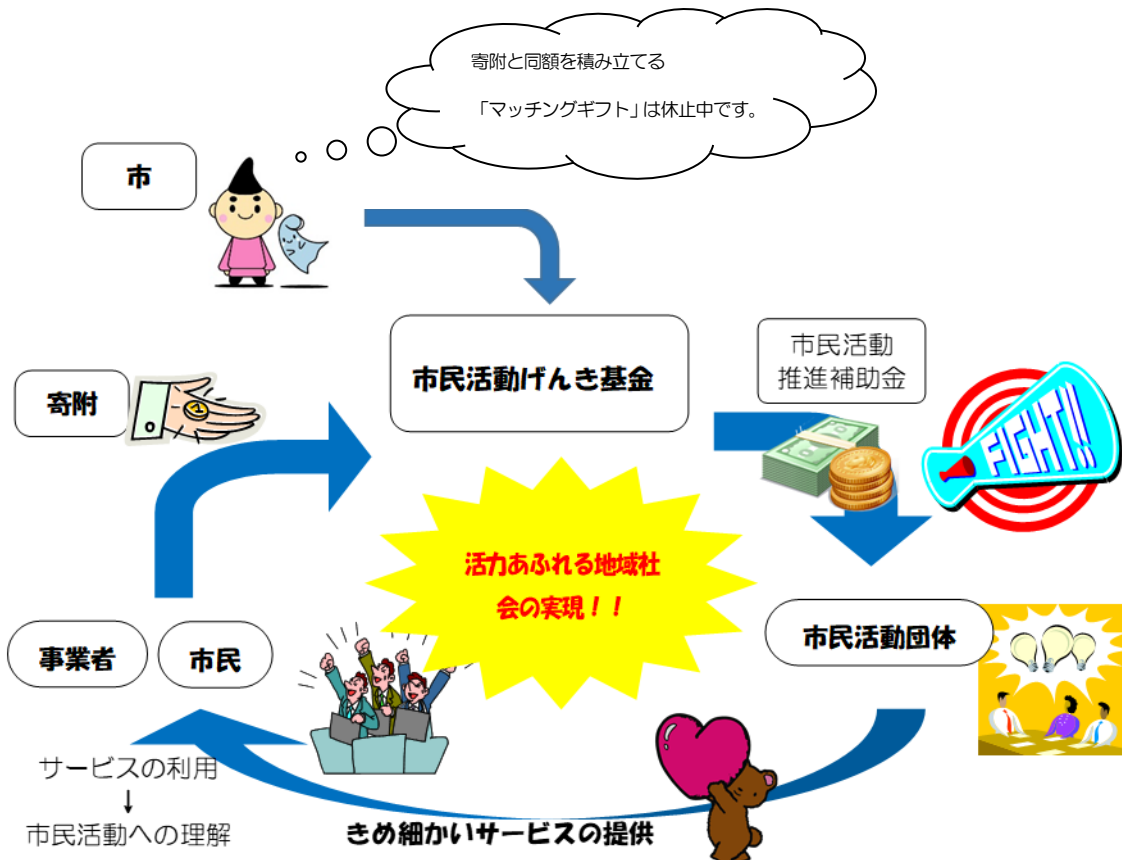
- (1) 選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告されます。
- (2) 審議結果の報告を受けて、市長が予算の範囲内で補助額を決定します。
- (3) 選考結果は、応募団体に採否の理由を付けて書面で通知します。また、茅ヶ崎市ホームページでも公表します。

茅ヶ崎市市民活動推進基金の概要

(愛称：市民活動げんき基金)

「今の活動をもっとたくさんの人に広げたい」
「みんなのための活動を新しく始めたい」
という思いをみんなで応援する仕組みです。

仕組み



寄附にご協力ください

市民活動げんき基金の積み立ては、1,500万円からスタートしました。市民活動推進補助金として、毎年補助をしています。仮に、寄附が全くなかった場合には、いずれ基金はなくなってしまいます。たくさんの寄附が集まれば、それだけ多くの補助ができ、市民活動がもっと“げんき”になります。

寄附の方法

- 窓口 茅ヶ崎市役所市民自治推進課
(本庁舎4階1番窓口)
平日 8:30~17:15
- 振込 手数料が無料になる振込用紙(納付書)をお送りします。
お近くの金融機関をご利用ください。

税の優遇措置が受けられます

市民活動げんき基金へご寄附いただくと、所得税及び法人税の確定申告(住民税の申告を含む)の際に寄附金控除の対象となります。

寄附の累計額

14,150,836 円

(令和6年12月31日現在)

みなさまからのご寄附をお待ちしております！

ちびきんぐ
えぼし麻呂

市民活動推進補助事業の区分と対象事業

区分	市民活動スタート支援	市民活動ステップアップ支援
対象団体	本制度による補助を受けたことがない団体	市民活動スタート支援を受けたことがある団体、または設立後2年以上の団体
対象事業	茅ヶ崎市民が受益者となり得る公益的な事業 公益的な事業とは、「特定非営利活動促進法(NPO法)に定める20分野に該当する事業」及び「その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業」をいいます。 ※構成員のみを対象とした共益的な事業は対象外	団体がこれまで行ってきた活動の拡充を図る事業または活動の発展を目的に次の一歩として新たに行う事業
補助限度額	対象となる事業に要する経費から、他の補助金等を控除した額の90%または10万円のいずれか低いほうを上限。 事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。 (例) 総事業費が30万円の場合 $30\text{万円} \times 90\% = 27\text{万円}$ $27\text{万円} > 10\text{万円}$なので補助限度額は10万円 (例) 総事業費が8万円の場合 $8\text{万円} \times 90\% = 7.2\text{万円}$ $7.2\text{万円} < 10\text{万円}$なので補助限度額は7.2万円	対象となる事業に要する経費から、他の補助金等を控除した額の60%～80%(※)または50万円のいずれか低いほうを上限。 事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。 ※補助率：1回目80%、2回目70% 3回目60% 千円未満の端数は切り捨てです。 (例) 総事業費が100万円の場合でステップアップ支援を初めて受ける場合 $100\text{万円} \times 80\% = 80\text{万円}$ $80\text{万円} > 50\text{万円}$なので補助限度額は50万円 (例) 総事業費が50万円の場合でステップアップ支援を受けるのが2回目の場合 $50\text{万円} \times 70\% = 35\text{万円}$ $35\text{万円} < 50\text{万円}$なので補助限度額は35万円
補助回数	同一団体1回限り	同一団体につき3回まで ※1回目のステップアップ支援を受けた翌年度は振り返り期間(フォローアップ)となるため、補助金の申請ができません。
補助予算総額	予算の範囲内で決定 【参考】令和6年度：300万円	

※団体の「設立後2年」の基準日は令和7年4月1日とします。

※同じ団体が同時に複数の事業を応募することはできません。

茅ヶ崎市市民活動推進基金にご寄附いただいた方々

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

寄附者（敬称略）	寄附金額（円）
ふるさと納税	64,000
匿名	10,000
宮崎 俊一	20,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	500
歌声サロン「チーパッパ」	7,724
湘南ヤクルト販売株式会社	13,708
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	53,130
ふるさと納税	34,000
令和5年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会設置募金箱	3,500
(合)SEA TURTLE	10,000
益永 律子	10,000
匿名	10,000
歌声サロン「チーパッパ」	5,550
ふるさと納税	18,000
錦織 弘	5,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	1,585
ふるさと納税	14,000
ふるさと納税	60,000
匿名	10,000
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	59,842
ふるさと納税	68,000
ふるさと納税	41,000
歌声サロン「チーパッパ」	5,114
ふるさと納税	163,000
小池 義孝	10,000
	697,653

茅ヶ崎市市民活動推進基金 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただいています。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和7年2月20日現在

区分	委員名	所属
市 民	やま ぐち あつ し 山 口 敦 史	公募
	とう ま え り 藤 間 英 里	
市民活動を行う ものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	やま く けい や 山 来 京 生	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社
学識経験を 有する者	だか やま かす しげ 高 山 和 茂	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	わか ばやし ひで とし 若 林 英 俊	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	やま た しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

スタート支援の部

茅ヶ崎 CAD 部	10
TAKURAMI 不動産	16
C3大作戦	24

ステップアップ支援の部

こどもマルシェ実行委員会	30
湘南1Leben	36
にじカフェ	42

市民活動推進補助事業企画書	
令和6年 12月 20日	
(あて先) 茅ヶ崎市長	
所在地	
提出者 名称	茅ヶ崎CAD部
代表者氏名 代表	木村朋道
次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	14情報化社会の発展を図る事業 15科学技術の振興を図る事業 16職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業
事業の名称	「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和7年 4月 1日から 令和8年年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	茅ヶ崎CAD部
連絡先	
設立年月日	令和2年 8月 1日
構成員数	5人（うち役員 3人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 5人 その他 人
情報の公開の方法	☒ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（茅ヶ崎市民活動ガイドブック ）
設立の経緯	3Dプリンターの今後の可能性を探る「デジタルと福祉」というイベントに参加したことをきっかけに、地元茅ヶ崎で何か貢献できないかと考え、当時、中学生と「茅ヶ崎CAD部」を設立しました。
活動の目的	茅ヶ崎CAD部は、3DプリンターやCADソフトを使って、アイデアを形にする楽しさを共有する場です。未経験者から経験者まで、誰でも参加でき、自分のペースでスキルアップを目指せます。地域のイベントで作品を展示したり、高齢者の方々向けの支援ツールを制作したりと、地域社会に貢献する活動も積極的に行っています。
主な活動内容	月2回開催の勉強会： 初心者向けの3Dモデリング講座 3Dプリンターの使い方講座 デザインソフトの活用法 年2回市内開催のお祭りへの出展： 3Dプリンターで制作した作品の展示 ワークショップの実施（参加者と一緒に作品を作る）25年度の目標
年間決算額	10,000円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

実施する事業 について	「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」 対象:学生、大人、親子 開催場所:コミセンなど公共スペース及びレンタルスペース 市内イベントワークショップ 開催は年度内4回をめざす 内容:フリーの3Dモデリングソフトを使い、自分だけのオリジナル作品をデザインします。 デザインしたデータを3Dプリンターで出力し、実物に触れる体験をします。 ネームプレート、かわいいチャーム、クリスマスオーナメントなど、様々なテーマの作品を作ります。 体験の最後にアンケートを取りウェブサイトなどで公開し共有する 又は参加者同士の発表の場を設け感想など共有する 参加された方々へは茅ヶ崎CAD部の勉強会へ招待し 引き続き3Dプリンターや3DCADソフトについて活用を深める機会を提供する 参加費:10～20分では500円(テーマ有り出力体験など初心者、小中学生) 30～1時間 1000円(自身のデザイン出力など高校生、成人)
事業の背景 について	デジタル化の進展: ・コンピュータによる設計・製造が一般的になり、デジタル技術への関心が高まっている。 ・3Dプリンターは、デジタルデータから実物を作り出すことができるため、デジタル化の流れを身近に体験できるツールとして注目されている。 ものづくりへの関心の高まり: ・DIY文化の広がりや、モノを大切にする価値観の再認識など、ものづくりへの関心が再燃している。 ・3Dプリンターは、アイデアを形にするためのハードルを下げ、より多くの人々がものづくりを楽しめるようにする STEAM教育の推進: ・科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術(Arts)、数学(Mathematics)の教育の重要性が認識され、STEAM教育が注目されている。 ・3Dプリンターは、これらの分野を横断的に学ぶことができるツールとして、教育現場で活用されている。
事業の目的や効果 ✓について	目的 3Dプリンターの普及: 3Dプリンターという最新のテクノロジーを広く知ってもらい、その可能性を理解してもらう。まずは触れてみる機会の提供します ・ものづくりへの興味喚起: 参加者にもものづくりへの興味関心を抱かせ、創造性を育む。 ・デジタルスキル向上: 3Dモデルの作成や3Dプリンターの操作を通して、デジタルス

	キルを向上させる。 効果 参加者への効果: ・ 学習効果: 3Dプリンターの仕組みや操作方法を学ぶことができる。 ・ 創造性向上: 自分のアイデアを形にすることで、創造性を高めることができる。 ・ 問題解決能力の向上: 3Dモデルの作成や印刷を通じて、問題解決能力を養うことができる。
事業の広報について	(使用予定の媒体にチェック) ☒ チラシ・ポスター ☐ パンフレットなどの刊行物 ☒ ホームページ ☒ Facebook ☐ Twitter ☐ その他のSNS() ☐ 市の広報紙 ☐ 市の広報掲示板 ☐ 口頭にて伝達 ☐ その他() ・出展予定のイベントの告知物を利用 ・出展予定施設の告知物、掲示板利用
今後の展望について	事業規模の拡大と多様化 ワークショップの多角化: 3Dプリンティングだけでなく、VR/AR体験、IoT、プログラミングなど、デジタル技術全般を網羅したワークショップを開催。 地域との連携強化 地元企業とのコラボレーション: 地元の製造業やデザイン会社と連携し、3Dプリンティング技術を活用した製品開発やプロトタイプ制作を支援。 サステナビリティ 環境に優しい取り組み: 生分解性プラスチックなど、環境負荷の少ない素材の活用を推進。 STEAM教育の推進: 科学、技術、工学、芸術、数学の知識を総合的に活用できるような学習機会を提供する。
事業の実施体制について	総括 代表者1名 会計 1名 広報 2名 (チラシ作成 配布) サポート 3名 (ワークショップ開催時の補助)

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 団体収入	¥5,300	団体資金から充当
2. 事業収入	¥30,000	500円×参加者10名×4回 1,000円×10組
3. 補助金	¥100,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥135,300	

支出

科 目	金 額	内 訳
物品費	¥98,800	3Dプリンター
	¥12,000	フィラメント(3Dプリンター材料) ¥3,000/本×4本
通信運搬費	¥6,000	コインパーキング等 300円/H×5時間/回×イベント等4回
印刷製本費	¥8,000	イベントチラシ1回30部×4回 (ネット印刷30枚で2,000円)
	¥3,000	40人+10組=50 50部資料等(アンケート用紙、ワークショップの内容を記載したもの3ページ)
使用料・賃借料	¥1,500	うみかぜテラス 3時間利用 (未確定)
	¥6,000	長谷川書店レンタルスペース 3時間 (未確定)
合 計	¥135,300	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物 品 購 入 理 由 書

	物 品 名	見 積 金 額	使 用 頻 度
	Bambu Lab A1 mini Combo、A1 mini 3D プリンター & AMS lite	¥98,800	ワークショップ、イベント等4回
	使 用 目 的 及 び 事 業 に お け る 必 要 性		事 業 終 了 後 の 取 扱 い
1	アイデアの具現化: 参加者が頭の中で思い描いたものを、3Dプリンターで形にすることで、創造性を刺激し、ものづくりの楽しさを実感できます。 これまでの家庭・趣味向け・教育機関向けといわれている3Dプリンターは単色造形で今回、選んだ機種は多色造形となっています この機種を選択した意図として ・色の組み合わせによって、多様なデザインを表現できるため、デザインの自由度が格段に上がり。個性を表現できます。 これまでの家庭・趣味向け・教育機関向け3Dプリンター ・組立がむずかしい ・初期設定、調整がむずかしい ・調整が難しいうえ失敗する率が高い ・造形不良の時、途中停止が困難 ・データの移行時にPCから本体へUSBなど記録メディア差し替える手間がある この機種の特徴 ・一度組み立てしまえば強固な筐体なのでそのまま使用できる ・各種調整が自動 日本語対応 ・wifi接続が可能なのでPC、スマホによるデータの移行、遠隔操作が可能 ・カメラがついているので造形中の状態がわかり途中停止など対応がしやすい ・造形スピードが速い ・今までより可動音が静か		団体で所有し、事業の実施の際に継続して使用する 毎月2回全24回の勉強会の内4回 見学会3回

市民活動推進補助事業企画書	
2024年 12月 19日	
（あて先）茅ヶ崎市長 所在地 提出者 名称 TAKURAMI不動産 代表者氏名 (代表)大西裕太	
次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(3) まちづくりの推進を図る事業 (9) 地域安全事業
事業の名称	茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業 ～地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2025年 4月 1日から 2026年 3月 31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	TAKURAMI不動産
連絡先	
設立年月日	2022年 11月 1日
構成員数	4 人（うち役員 4人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 3 人 その他 1 人
情報の公開の方法	☐ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載、Instagram、Facebook、Peatix）
設立の経緯	メンバーの大西が地域でコミュニティとなるお店を始めたことがきっかけで、地域で暮らす人の気づきや問題意識から生まれる場がまちにたくさん増え、まちで暮らす誰もが一つは居場所を持っているまちづくりを目指すために設立しました。
活動の目的	空き家や空き地などの活用を通して、地域で暮らす人たちの気づきや課題から生まれたお店や居場所づくりの応援をしていくことで、様々な場のある豊かなまちを目指します。
主な活動内容	・まちのことについて知る、考える、場を作る イベントの実施 ・お店や居場所づくりをしたい方のサポート、情報発信 ・空き家や空地を持っている方、大家さんからの利活用サポート、情報発信 ・場づくりをしたい人と大家さんの出会いのきっかけづくり ・まちに場が増えていく仕組みづくり ・行政や他団体との連携
年間決算額	58,000円
補助金の状況	なし

備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

実施する事業について	<大家、空き家所有者に対するヒアリング実態調査> 【概要】 貸家を持っているが空室になっている大家、実家などの空き家所有者に対して個別でヒアリングを実施し、所有者が抱えている課題や想いなどの実態を把握する。 【目的】 茅ヶ崎に、茅ヶ崎らしい空き家活用の文化を醸成していく。 ・大家、空き家所有者の実態把握 ・TAKURAMI不動産の認知・信頼性の向上 ・大家、空き家所有者とのヒアリングを通して、活用されていないものを何かに活用していく気運の醸成 ・ヒアリングを通して、大家、空き家所有者に処分以外の様々な活用方法や可能性を知ってもらう機会やきっかけとなること 【対象者】 ・空きスペースを所有しており、何かしら活用を考えている人、または誰かに使ってもらうことを考えている人 ・今後、空きスペースを所有する可能性があり、有効活用についてアイデアを考えている人 ※最初はすでにあるつながりの中で対象者と出会い、ヒアリングした方に次の大家、空き家所有者を紹介してもらう。理由は、地域活動に少しでも興味ある人から実態を把握することで、活用文化を育みやすい要素を探し出せると考えたため。 【ヒアリング実施時期】 ・2025年4月 ヒアリングシートヒアリング依頼書の作成 ・2025年5月～2026年2月 ヒアリングの実施（2回/月） ・2026年3月上旬 取りまとめ報告書の作成 【実施形式】 ヒアリングシートを元に、大家、空き家所有者の建物や土地に対する考え方や、建物に付随する個人的なストーリーを過去・現在・未来と個別に1時間半ほどヒアリングし、茅ヶ崎らしい空き家活用文化の醸成に必要な要素を探し出す。ヒアリングシートには、個人情報の取り扱いについて、目的や用途を記載、また、連絡なく公表やその他の用途に使用しないことなどを明記する。 <ヒアリング対象者に向けたチラシ・パンフレットの作成> 【概要】 ヒアリング対象者に向けて、活用を目指しているという意図とヒアリング内容がわかりやすいチラシ、ヒアリング対象者に安心感を持ってもらうための「げんき基金採択団体」と記載あるパンフレットの作成。空き家活用やまちづくりに興味関心のある幅広い人が報告会に参加したくなるチラシの作成。 【目的】 ・ヒアリング対象者向けチラシを見た人がヒアリングの意図と内容、TAKURAMI不動産の目指していることがわかること。 ・報告会用のチラシを見て報告会に興味を持って参加すること。 ・団体の概要と目指していることが伝わり、次の紹介者にパンフレットを持って話ができること。 【対象者】 ・ヒアリング対象者向けのチラシ：ヒアリング対象者 ・報告会用のチラシ：空き家活用に興味・関心ある人 ・パンフレット：ヒアリング対象者（ヒアリングを受けた方が、次のヒアリング対象者を紹介する際に渡してもらうことを想定） 【印刷部数】
------------	--

	ヒアリング対象者向けチラシ100部、報告会用のチラシ100部、パンフレット300部 ＜ヒアリング内容を元にした、空き家や空き地、空きスペースなどの茅ヶ崎らしい活用の仕組みを考える報告会＞ 【概要】 大家や空き家などの空きスペースを持つ人の建物や土地の活用に関する意識や想い、課題等のヒアリング内容を踏まえた、茅ヶ崎らしい活用の仕組みを考える報告会の実施。 【目的】 ・茅ヶ崎らしい空きスペースなどの活用体制や仕組みづくりにつながる要素を抽出すること。 ・空き家活用に興味や関心ある人の出会いの場と仲間づくり。 ・次年度以降の本格的な仕組み作りに向けた、未活用な場の活用の意識を醸成すること。 【報告会の開催時期】 ・2025年10月 ヒアリング中間報告会の実施 ・2026年3月下旬 最終報告会の実施 【開催形式】 ・開催時間：報告会2時間+交流1時間 ・参加費：無料、定員：20名程度 ・安全管理：感染症対策としてアルコール手指消毒・換気の実施 【対象者】 ・まちづくりや空き家問題に興味関心のある人 ・地域活動をしていて場所を必要としている市民団体等 ・ヒアリング対象者としてお話を伺った人 ・行政の空き家対策の関連部署の人 【開催場所】 コミュニティセンターや公民館、また民間の貸し会議室も利用
事業の背景について	＜茅ヶ崎の空き家などの空きスペース事情と地域の特性＞ 茅ヶ崎はコロナ禍であっても移住してくる人も多く、住まいに対するニーズは高い。アクセスが良いなど好立地にある物件は売却が可能なため、茅ヶ崎で空き家となるような物件は売却が難しい場所にある物件であったり、所有者をはじめとした関係者に複雑な事情がある場合が多い。 地方に比べるとまだそれほど危機的な状況にはなっていないものの、茅ヶ崎も空き家の数が増え始めており、今後茅ヶ崎も空き家の問題が表面化・深刻化してくる。特に空き家問題については、活用よりも売却を含めた処分に意識が向いている空き家所有者が多いが、家族関係など事情が個別化・複雑化しているため、一律な解決方法では処分することもままならないケースが多い。 一方で、茅ヶ崎は市民による活動が活発であり、空き地や空き家などの活用できる場所を探している人は多い。また、小さくできることから自分のやりたいことを始める人も多いため、空きスペースなどの未活用の空きスペースを活用していく意識を醸成していくことで、空き家問題が深刻化したときにも活用を考える人がまちに増えている状態を作っておくことができる。 ＜大家、空き家所有者に対するヒアリングの必要性＞ これまで本団体としては、主にお店や場を持ちたいなどのやりたいことを持っている人たちに向けたイベントを開催したり、まち全体について考えるまち歩きをするなどの活動をしてきた。その中で動き出した空き家を活用した場づくりのケースを見ていると、やりたいことがある人は自分の持っているものや他の人が活用できていないものを上手に組み合わせながら小さく始めている人が多い。 一方で、本団体では茅ヶ崎エリアの大家さんや空き家所有者が

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
団体収入	22,000	団体資金から充当
補助金	100,000	市民活動推進補助金
合 計	¥122,000	

支出

科 目	金 額	内 訳
印刷製本費	14000	パンフレット印刷費 7,000円(300部) 名刺印刷費 600円(100部)×3人=1,800円 ヒアリングチラシ印刷費(A4) 2,000円(100部) 報告会用チラシ (A4) 1,500円(50部)×2回=3,000円 ヒアリングシート印刷費(100部)サボセンにて印刷 2円×100部=200円
使用料・賃借料	28000	報告会用の会場費 3,500円/時×4時間(準備30分片付け30分を含む)=14,000円×2回=28,000円
委託料	80000	パンフレット・デザイン費 50,000円 名刺・デザイン費 10,000円 ヒアリングチラシ・デザイン費 10,000円 報告会用チラシ・デザイン費 10,000円
合 計	¥122,000	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

不動産屋ではありません。

TAKURAMI不動産は「不動産」と名前に入っていますが、不動産屋として活動しているのではなく、空き家所有者のお困りごとを通して地域の人と出会うきっかけを作ったり、地域で場づくりを考えている人が空き家所有者と出会い、関係性を深めるきっかけ作りをしています。

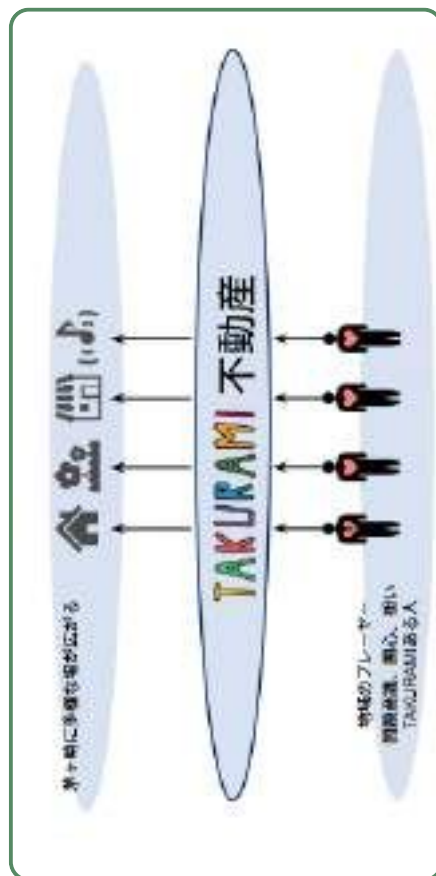
TAKURAMI不動産がめざすこと

やりたいことがある人と、物件所有者さんが
お互いに理解することからつながる。



まち全体が多様なTAKURAMIでいっぱい

それぞれが想いある人が作った場がまち全体にたくさんある。結果として、まちに機能は充実している状態



今までの活動内容

地域の魅力発見！まちあるきの会

目的もなく、様々な人といっしょにまち歩きをしてみること、見えてくる地域の魅力やまちの姿がきっとあるはず。
生活圏内のエリアを少し飛び出して、普段は歩かないまちを歩きながら、あらためて茅ヶ崎というまちの魅力を再発見、まちや地域に求められる役割についてもご参加の皆さんといっしょに考えていくイベントです。

柳島編



東海岸編



萩園編



辻堂北側編



空き家に関わる勉強会やイベント

不動産や空き家関係で活躍されていたり、実際にお店を始めているなど、さまざまな方をゲストにお呼びし、空き家(に限らない不動産全般)活用に関する情報をインプットしながら、地域にどのように活かせるかをご参加の皆さんといっしょに共有・ディスカッションしていきます。
その他に、サポセン主催のボランティア塾で高校生に授業をしたり、お片付けイベントも開催し、色々なアプローチで空き家に関わるイベントを行っています。

空家バンクについて考える会



空き家にしないために～遺言編



高校でのボランティア授業



お片付けイベント



市民活動推進補助事業企画書 令和6年12月 5日 （あて先）茅ヶ崎市長 所在地 提出者 名称 シーズリー C3 大作戦 代表者氏名 代表 横山 孝視 次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(7) 環境の保全を図る事業 (13) 子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	茅ヶ崎 段ボールコンポスト チャレンジ大作戦
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和7年 4月 1日から 令和8年 3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
 - (2) 構成員の名簿
 - (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	シーズリー C 3 大作戦
連絡先	
設立年月日	令和5年10月2日
構成員数	3人（うち役員 3人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 3人 その他 0人
情報の公開の方法	☐ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（Facebook、Instagram、茅ヶ崎市市民活動団体のウェブサイトに掲載）
設立の経緯	段ボールコンポストに興味があり、数年前から取り組んできました。 CO2削減の観点や生ごみを堆肥として利用できることから、環境に良いことと分かっているにもかかわらず、自分一人では抵抗があるものです。 段ボールコンポストは、虫・臭い・段ボールが壊れる、コストがかかる等の課題があります。 これらの課題に対してストレスなく取り組み、皆が自作できる段ボールコンポスト容器を、独自開発することができ、各家庭で安価で取り組むことができるようになりました。 そこで、『C3大作戦』と称し茅ヶ崎発で段ボールコンポストの普及活動を開始することとしました。
活動の目的	・生ごみの焼却や、ごみの運搬によるCO2を削減する。 ・堆肥化された生ごみは、各家庭の家庭菜園で利用できることから、循環型社会へ貢献する。 ・微生物が生ごみを分解することを、子供に学んでもらう。
主な活動内容	・段ボールコンポスト容器のワークショップ・堆肥作りのレクチャー ・小学校での、土を触りながらのコンポスト作り体験
年間決算額	円
補助金の状況	団体名：なし 補助金の交付を受けた年度：なし 補助金の名称：なし

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

実施する事業について	段ボールコンポスト容器のワークショップ、堆肥作りのレクチャー （日程）年に6回程度（定員：7組、所要時間：1回1時間程度） （場所）香川自治会館、コミュニティホール会議室、青少年会館 （対象）茅ヶ崎の方（香川自治会館の場合は香川自治会の方） （費用）1回につき、1,000円（コンポスト容器材料代） 参加者には、LINEの公式アカウントに登録頂くことで、段ボールコンポストの困りごとに対するフォローも行う。 【衛生管理、安全管理等】 ・基材（ピートモス、もみ殻くん炭、等）を混ぜる作業があり、基材が部屋に残らないように、作業時はブルーシート等を用い、終了時には掃除機かけを行う。 ・スタッフは極力マスクを着用し、入り口にアルコール消毒を設ける。
事業の背景について	日本の家庭から出る生ごみの量は、年間約一千万トンと日本で一年間に食べられている主食のお米とほぼ同じ量に相当する。 また、家庭から出る生ごみのほとんどがリサイクルされずに、焼却・埋立処分されており、焼却処分によって発生するCO₂は地球温暖化を進行させ、環境に与える影響が大きい。 平成13年1月に「循環型社会形成推進基本法」が施行され、循環型社会の形成に関する活動が推進されている。 家庭から出る生ごみを堆肥として循環させるコンポスト容器は、環境に配慮したものとなり、循環型社会形成の活動となる。
事業の目的や効果について	・段ボールコンポストが普及することで、家庭ごみの約4割を占める生ごみの一部を、各家庭でコンポスト化(堆肥化)することで、生ごみの焼却や、ごみの運搬によるCO₂の削減が期待できる。 ・堆肥化された生ごみは、各家庭の家庭菜園で利用できることから、循環型社会への貢献となる。 ・段ボールコンポストは、小さいスペース（1容器30cm角程）で始めることができ、1日平均400gの生ごみを2か月間処理した後は、夏場は3週間、冬場は1か月で熟成堆肥となる。発酵温度は30℃～60℃程と高くなり、好気性微生物の存在を身近に感じられることから、子供の環境学習としての効果がある。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ☒チラシ・ポスター ☐パンフレットなどの刊行物 ☐ホームページ ☒Facebook ☒Twitter ☒その他のSNS（Instagram、YouTube） ☒市の広報紙 ☐市の広報掲示板 ☐口頭にて伝達 ☒その他（自治会の回覧にて配布）
今後の展望について	令和2年に作成された茅ヶ崎市ごみ減量化基本方針に記載されている通り、コンポスト容器の1/3(上限2万5千円)に相当する額の補助金が設けられているが、段ボールコンポスト容器には現在補助金が適用されていない。初年度は、げんき基金を補助金の代わりとして、基材（ピートモス、もみ殻くん炭、EMぼかし）を無料で配布し、段ボールコンポストの普及を促し、ゆくゆくは段ボールコンポストが、茅ヶ崎市の補助金の対象となるような事業としたい。
事業の実施体制について	スタートアップ事業であり、初年度は代表が総括を行う。 会計・広報・教室の運営を3人の構成員で、スモールスタートで事業を進めていく。 代表が講師を務めるが、事業を進める中で、ノウハウを蓄積しながら、事業のニーズや規模に沿った構成員を教室参加者の中から積極的に募り、講師が複数人になるように事業体制を構築していく。

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 会費収入	¥11,405	「C3大作戦」にて負担(会費から充当)
2. 事業収入	¥42,000	参加者負担費用(材料費) ¥1,000×6回×7人
3. 補助金収入	¥100,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥153,405	

支出

科 目	金 額	内 訳
1. 物品費	¥131,045 (税込金額)	【コンポスト容器材料(42セット分)】 ワイヤネット ¥110×5枚×42セット ¥23,100 パーライト ¥110×42袋 ¥4,620 換気扇カバー ¥110×42個 ¥4,620 不織布収納袋 ¥110×42枚 ¥4,620 金属スコップ ¥110×42本 ¥4,620 温度計 ¥110×42本 ¥4,620 ピタッと吸着マット ¥110×42枚 ¥4,620 鉢底ネット(1m) ¥220×42巻 ¥9,240 サージカルテープ ¥110×7巻 ¥770 クッキングシート(30cm×4m) ¥110×7 ¥770 結束バンド(140本) ¥110×7袋 ¥770 梱包用不織布袋 (310×450mm)6枚入 ¥24×42個 ¥1,008 ポリエチレン手袋L・S(120枚) ¥110×2個 ¥220 フリーザーバッグL(11枚) ¥110×4個 ¥440 取手付きごみ袋(8枚) ¥110×6個 ¥660 アロマオイル 3個 ¥330 段ボール(100枚@¥11,550) ¥115.5×2×42枚 ¥9,702 段ボール底板(100枚@¥3,850) ¥38.5×2×42枚 ¥3,234 小計 ¥77,964 【コンポスト用基材(年間使い切り)】 ピートモス(1ft 約300L) 約40～50回分 ¥5,250 もみ殻くん炭(約240L) 約50～60回分 ¥7,798 EMIぼかし菌床(25L) 約40～50回分 ¥2,560 小計 ¥15,608 【その他物品】 ブルーシート ¥513×7枚 ¥3,591 収納BOX(75L) ¥3,333×4個 ¥13,332 収納BOX(45L) 簡易密封型 ¥2,300×2個 ¥4,600 キャリーカート ¥7,998×1台 ¥7,998 計量カップ ¥1,848×1個 ¥1,848 ホッチキス 卓上 ¥2,105×1台 ¥2,105 ハンディクリーナー ¥3,999×1台 ¥3,999 小計 ¥37,473 2. 使用料・賃借料 ¥9,060 (税込金額) 香川自治会館(¥1,500×2回分) ¥3,000 青少年会館美工室(¥1,360×2回分) ¥2,720 コミュニティホール会議室(¥1,670×2回分) ¥3,340 小計 ¥9,060 3. 印刷製本費 ¥13,300 (税込金額) 白黒チラシ600枚(自治会用) ¥2×2回×300枚 ¥1,200 カラーチラシ1000枚 ¥5×4回×250枚 ¥5,000 段ボールコンポスト説明書 ¥5×10枚×42部 ¥2,100 ★団体PRパンフレット1,000枚 ¥5×1000枚 ¥5,000 小計 ¥13,300 合 計 ¥153,405

* 物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

他の自治体でのコンポストの取り組みとC3大作戦の取り組み

小田原市の取り組み

生（いき）ごみ小田原プロジェクト

平成22年度から、小田原市では家庭から出る燃せるごみの約30%を占める「生ごみ」の減量化を図るため、「生（いき）ごみ小田原プロジェクト」と称し、生ごみ堆肥化推進事業をスタートしました。令和6年3月末現在で、これまでの参加世帯が累計6,680世帯となり、全国的に見ても規模の大きな取り組みに発展してきました。

- ・段ボールコンポストに応募される方には、新規セットを支給します。（無料・初回のみ）

（注）段ボールコンポスト以外の方法には、補助はありません。



段ボールコンポスト新規セットに入っているもの

- ・段ボール（底板付き）
- ・虫よけカバー（不織布）
- ・温度計
- ・シャベル
- ・基材（おがくず、もみ殻くんたん、腐葉土の混合物）
- ・説明書

※ 夏期以外は、米ぬかも付きます。



店頭販売用基材

藤沢市の取り組み



コンポストでできた堆肥が野菜になる



コンポスター環とは神奈川県藤沢市のレストランが開発したコンポスト

こちらのコンポスター環を使えば、出来上がった堆肥をレストランに併設しているファームで回収し、ファームで育った野菜1kgと交換。コンポスター環は藤沢市のコンポスト補助金の対象となっている。

フランスの取り組み

フランスでは2024年1月1日より、全国レベルで有機性廃棄物の堆肥化が義務化された。各自治体は市民に対し、生ごみや野菜の皮、消費期限切れ食品や庭のゴミといった有機性廃棄物の分別方法を提供しなければならない。

この措置は政府の「緑の基金」から拠出される。

家庭や事業者は、有機物を家庭専用の小さなごみ箱か、自治体の収集場所に廃棄することが義務付けられている。

C3大作戦の取り組み

茅ヶ崎発で段ボールコンポストに親子で取り組み、そのリアルをyoutubeで、配信中。

- ・『コンポスト100日目 100日間段ボールコンポスト作りをやってわかったこと』は再生回数1000回を超えました。



- ・『Cポスの全貌大公開！』にて、茅ヶ崎発の小さい段ボールコンポスト容器Cポスについての説明や作り方を公開しました。



親子で始めた堆肥作りの輪を、ワークショップを通して地域の中に発展させたい。

開発した段ボールコンポスト容器^{チー}（Cポス）の外観と構成

Cポス外観	①段ボール容器	②メッシュ底	③外枠	④臭いキャップ	⑤カバー
					

一般的な段ボールコンポスト容器とC3大作戦の段ボールコンポストの比較表

	一般的な コンポスト容器	チー Cポス	
			備考
段ボール サイズ	ミカン箱タイプ (例) 31x37x40cm 約40L	焼酎の段ボール箱相当 28x28x28cm 約20L	省スペース
入れる 基材の量	25L	10L	少量の為 低コスト
生ゴミ 投入量	500g	平均400g 多い時は1kgでもOK	5人家族の 生ゴミを処理
生ゴミ 投入期間	3～6か月	2か月	短いスパンで 堆肥作り
段ボールの 壊れやすさ	結露で濡れて 壊れる	外枠で支えるので 結露で濡れても壊れない	段ボールの 交換労力削減
臭い	発酵臭がする	発酵臭はするが 臭いキャップで 臭いを抑制できる	アロマの香りを 付けても良い

【その他のメリット】

- ・破れにくい段ボールの底
- ・底上げしているので段ボール底が湿らない
- ・基材が少なく、混ぜる労力が少ない
- ・チャック式カバーで、作業性が良く衛生的
- ・サージカルテープで湿気による

段ボール壊れ防止

- ・カバーの中にスコップを収納でき
臭いも虫もスコップにつかない



茅ヶ崎発の小さなコンポスト容器^{チー}Cポス
ワークショップで一緒に容器を作って
堆肥作りにチャレンジしましょう！

市民活動推進補助事業企画書 2024 年 12 月 20 日 （あて先）茅ヶ崎市長 所在地 提出者 名称 ちがさきこどもマルシェ実行委員会 代表者氏名 会長 金子有希 次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(3)まちづくりの推進を図る事業 (13)子どもの健全育成を図る事業 (16)経済活動の活性化を図る事業
事業の名称	第2回ちがさきこどもマルシェ
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで
事業経費の配分及び経費の使用法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

市民活動団体概要書

名称	ちがさきこどもマルシェ実行委員会
連絡先	
設立年月日	2023 年 3 月 31 日
構成員数	4 人（うち役員 人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 4 人 その他 人
情報の公開の方法	☐ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載・Instagram）
設立の経緯	令和 4 年 10 月に会長の自宅軒先で、知人・友人の小学生ら 5 組を集め、子どもが作った作品などを販売する第 1 回目のこどもマルシェを開催。その後、第 2 回目開催の強い要望により令和 5 年 3 月に実行委員会を設立し、令和 5 年 4 月には 2 回目を開催。令和 5 年 11 月には規模を拡大し、古民家を借りて 3 回目（12 店舗出店）を開催。
活動の目的	マルシェイベントを通して、出店する子どもたちに自己表現する楽しさと自信を実感してもらうとともに、お金を扱う社会の一員としての責任も感じ取ってもらい、社会の中で主体的に生きていく力、自ら未来を作り出す力を身につけてもらうことを目的としています。
主な活動内容	・こども出店者がお互いを知り合うためのコミュニケーションワークや、お金大切さを学ぶワークショップの開催 ・こどもマルシェイベントの企画及び運営
年間決算額	210,000 円
補助金の状況	団体名： なし 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

事業計画書

実施する事業について	【第2回ちがさきこどもマルシェ】 こどもがお店屋さんを開いてまちとつながるマルシェイベント。年長から中学生までのこどもたちが個人、または3人以下のグループで自ら考え形にした計35店舗が出店する他、それを取り囲むように本物（大人）の飲食店や物販、ヨガ等のアクティビティも同数の35店舗出店し、1日限りの「みんなが主役の小さなまち」を形作る。茅ヶ崎市のシンボリック存在の茅ヶ崎市役所前広場で、老若男女問わず1日中楽しめるイベントを開催する。 （日程）令和7年10月下旬イベント開催予定 （場所）茅ヶ崎市役所前広場 （対象）こども出店者35店舗(予定)、大人出店者35店舗(予定)、来場者3,000人(想定) ————— ※イベントまでの準備期間に以下を実施予定 ■6月以降月1回 実行委員会オンライン打ち合わせ 対象：実行委員メンバー4名 内容：イベント開催の4ヶ月前には始動。今年度の方針を決め、役割分担とスケジュール、予算等を確定し、定期的なミーティングを行いながら準備を進める。 ■7月上旬～下旬 出店キッズ募集期間 対象：年長から中学生までの個人・3人以下のグループ 内容：ミーティングによって決定した募集要項を記載し、ポスターやリーフレット、SNS等にて募集告知を開始。応募フォームには保護者、子どもそれぞれのコメントを記入してもらい、保護者の同意のもと子どもが自らの意志で応募できるように配慮する。募集期間終了後、応募者多数の場合はできる限り出店枠（募集は35店舗）を広げる工夫をしつつ、厳選なる選考を行い、出店キッズを決定。応募者全員に出店の可否と今後のスケジュールをメールにて通知する。 ■8月初旬 出店者説明会、こども会議開催 対象：こども出店者、保護者、大人出店者 内容：出店希望者への概要説明等(販売単価の上限や各種注意事項)を実施。こども会議では、こども出店者がお互いを知り合うためのコミュニケーションワークや、お金の大切さを学ぶワークショップを実施。保護者へはイベントの趣旨や著作権に対する考え方を伝え、同意書記入を依頼するとともに質疑応答の時間を持ち、安心して出店してもらうための環境づくりを行なう。 場所：うみかぜテラス(予定) ■9月上旬～ マルシェ開催告知開始 対象：市内の子ども・大人 内容：ポスターや出店店舗名を明記したリーフレットを作成し、市内各所にて配布。SNSでの告知開始とともにプレスリリースも配信し、メディア取材も受け付けながら認知を高めていく。 ■10月上旬 出店者ミーティング・看板制作 対象：こども出店者 内容：主催者からイベント当日の注意事項を伝える他、こどもたちからは自分のお店についてのプレゼンテーションを披露してもらう。また、当日店舗に掲げる看板を自分たちの手でつくり本番への気持ちを高める機会とする。出店前の不安を解消するための相談も受け付ける。 場所：うみかぜテラス(予定)
-------------------	---

	■10月下旬 イベント開催 対象：出店者及び来場者（3,000人想定） 内容：開催時間までに安全対策に最大限に配慮して準備、設営を行なう。イベント中は、20名～30名のボランティアとともに子ども・大人の出店サポート、場内見まわり、来場者案内を行い、終了後は速やかに撤収を実施する。 場所：茅ヶ崎市役所前広場(予定) ■11月下旬 出店者振り返りワークショップ 対象：こども出店者及びその保護者 内容：自宅にて親子で振り返りを行ってもらい、子ども・大人それぞれに実施後の感想や反省点、今後への改善点を発表してもらう。その内容を次年度以降の開催へと反映していく。 場所：コワーキング&ライブラリーCの辺り(予定) 【衛生管理・安全管理等】 ■安全対策:スタッフが事前の下見・打ち合わせを行い、活動エリア内の危険箇所や注意事項を運営マニュアル内にまとめて記載。また、事前の説明会でもアナウンスをする。テントや看板等の備品に関しても安全性に十分配慮しながら設置を行う。 ■健康管理:熱中症対策のため、こまめな水分補給を参加者に促す。活動日の朝は検温を行い、急な体調不良に備えて救護ブースも設置。また、近隣の救急病院の連絡先をスタッフ間で共有し、参加者の保護者の連絡先も把握。 ■衛生管理:食品を取り扱う出店者(大人)については、保健所への届出書を提出してもらい、規定の設備での調理を徹底する。
事業の背景について	令和4年10月に当団体会長・金子の自宅軒先で、知人・友人の小学生ら5組を集め、手作りアクセサリーやキーホルダー、編み物作品などを販売する第1回目のこどもマルシェを開催。開催前にはこども会議を行い、イベント名やロゴも子どもたちに考えてもらい、当日も子どもたち自らの手でお店を運営し、来場者にも好評をいただきました。その後、参加した子どもたちや保護者からの強い要望もあり、規模拡大を目指し、令和5年3月に実行委員会を設立し、令和5年4月には2回目を開催。令和5年11月には場所を前回よりも大きな会場の古民家に移して3回目（12店舗出店）を開催しました。 マルシェを開催するたびに成長していく子どもたちの姿を目の当たりにし、より多くの子どもたちに本物に触れる機会や、自分の「好き」を形にする経験を提供することで、「できる」という自信とこれから生きる力を育むことを目的に活動をしています。 その後は茅ヶ崎市役所前広場に場所を移し、令和5年10月には「TUNAGU フェスタ」の一部としてこどもマルシェを開催。令和6年10月には単独で最大規模のイベント「第1回さがさきこどもマルシェ～みんなでつくる小さなまち～」を開催。アクセサリーや雑貨、小物販売の他、射的やアートなど体験・ワークショップブースなど彩り豊かな子ども出店ブース32店舗が並び、大人のブースやキッチンカーも同数の32店舗が出店し、ファミリー層を中心に来場者2,500名を集め大盛況のうちに終了しました。 今後もこのような子どもも大人もみんなが主役となるイベントを継続的・安定的に運営していくため、げんき基金補助制度への応募を決意しました。
事業の目的や効果について	マルシェイベントを通して、出店する子どもたちに自己表現する楽しさと自信を実感してもらい、お金を扱う社会の一員としての責任も感じ取ってもらい、社会の中で主体的に生きていく力、自ら未来を作り出す力を身につけてもらうことを目的としています。 また、来場する子どもたちにも自分の意志で買い物をすることによってコミュニケーションを取り、まちとつながる本物の体験を提供し、出店する

	大人たちには子どもたちを見守り支えることで今を生きる子どもたちの力を身近に感じ取ってもらい機会とし、子どもも大人も「みんなが主役のまち」をかたちづくっていくきっかけづくりを行ないます。												
事業の広報について	(使用予定の媒体にチェック) ☒チラシ・ポスター ☒パンフレットなどの刊行物 ☐ホームページ ☐Facebook ☐Twitter ☒その他のSNS（インスタ） ☐市の広報紙 ☒市の広報掲示板 ☒口頭にて伝達 ☐その他（ ） ・リーフレットやポスターは大人出店の店舗やイベント開催に共感してくれる地域の店舗に掲示及び配架予定。コミュニティーセンター(11館×10部)にも配架依頼予定。また、子ども出店者が自らの手で友人や知人に配布。 ・ポスターは市の広報掲示板にも掲載を依頼(146箇所) ・インスタグラムでは出店者確定後、出店者紹介の投稿を実施。 ・各日程の動画を撮影・編集し次回以降のPRに使用。												
今後の展望について	ちがさきこどもマルシェは以下の4つを大切に、1日限りの「小さなまち」をかたちづくるイベントです。 ●まちとつながる お買い物やさまざまな経験を通して、お店屋さんとお客さんがつながり、お客さん同士がつながり、まち全体がつながるような時間・空間をつくりまします。 ●夢を描く・叶える お店やさんの夢、先生になる夢、自分のお金で買い物する夢。オトナの見守りの中で、みんなが夢を描き、叶えられる場を育みます。 ●本物を感じる・体験する 本物のお金を扱い、プロの仕事に触れて、こどもたちが本物を感じる体験を提供します。 ●こどもが楽しむ・オトナも楽しむ こどもたちはもちろん、オトナもおなじく全力で楽しみます。これらは、子ども基本法に定められた子どもの「参加する権利」を保障することにもつながると考えています。 いつかこのような時間・空間が茅ヶ崎のまち全体へと伝播していくことを願い、継続的にマルシェを開催していくとともに、想いを共有できる地域の他団体と共同で規模の大きなイベントやワークショップも開催し、より多くの子ども・大人へと機会を拡大していきたいと考えています。 また、他の地域やまちの有志の方々からも「こどもマルシェを開催したい」という声が届いており、ノウハウを提供することで茅ヶ崎から全国へと広げていきたいと考えています。												
事業の実施体制について	<table border="0"> <tr> <td>総括責任者</td><td>1名</td></tr> <tr> <td>イベント運営責任者</td><td>1名</td></tr> <tr> <td>会計</td><td>1名</td></tr> <tr> <td>ライティング</td><td>1名</td></tr> <tr> <td>ビジュアル制作</td><td>1名</td></tr> <tr> <td>SNS運用</td><td>1名</td></tr> </table>	総括責任者	1名	イベント運営責任者	1名	会計	1名	ライティング	1名	ビジュアル制作	1名	SNS運用	1名
総括責任者	1名												
イベント運営責任者	1名												
会計	1名												
ライティング	1名												
ビジュアル制作	1名												
SNS運用	1名												

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
団体収入	15,000	前回繰越金
事業収入	210,000	大人出店5,000円×35店舗 子ども出店35店舗×1,000円
補助金	500,000	市民活動推進補助金制度
合 計	725,000	

支出

科 目	金 額	内 訳
謝金	110,000	カメラマン:30,000円 SNS運用:30,000円 イベント当日ボランティアスタッフ:10名×5,000円
物品費	30,000	看板制作に関する資材・文房具・消耗品
印刷製本費	32,000	A3折パンフレット2,000部:20,000円 A4両面ポスター1,500部12,000円
デザイン費	160,000	A3折パンフレット:80,000円 A4両面ポスター:80,000円
WEBページ制作	180,000	こども出店&購入体験の機会を増やすためのWebページの作成
動画制作費	80,000	事前準備及び当日、振り返りWSの動画制作
使用料・賃借料	133,000	出店者説明会会場費(うみかぜテラス):500円×3時間=1,500円 出店者ミーティングWS会場費(うみかぜテラス):500円×3時間=1,500円 出店者振り返り会WS会場費(Cの辺り):10,000円×1式=10,000円 出店用什器レンタル費:3,000円×40台=120,000円
合 計	725,000	

* 物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

市民活動推進補助事業企画書	
令和6年12月19日	
(あて先) 茅ヶ崎市長	
所在地	
提出者 名称	湘南1 Leben
代表者氏名	代表 古知屋 友里
次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2) 社会教育の推進を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業 (8) 災害救援事業
事業の名称	保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和7年 4月1日から 令和8年 3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

第2号様式（第7条関係）

市民活動団体概要書

名称	湘南1 Leben（しょうなんワンレーベン）
連絡先	
設立年月日	令和元年 3月 1日
構成員数	26人（うち役員 10人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 14人 その他 12人
情報の公開の方法	☒ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（Instagram、X、Facebookでの発信）
設立の経緯	主婦生活をしていた代表が、自分の家に迎えた犬の病気を知り販売店とやりとりをする中で生体販売の仕組みについて関心をもち、情報を得る中で保健所での動物収容や殺処分などを知り、犬の保護と里親探し、犬と人間の良い関係に関する啓発活動を組織的に展開しようと考えて設立。
活動の目的	全国の保健所や保護団体から犬を引き出して、里親を探し譲渡することで、殺処分とならないようにする。その中で、犬の心身の健康状態を良好に保つ適正な飼育方法や、犬と人間とのより良いありかたを学び、市民に情報提供する。
主な活動内容	・保護犬の世話やシェルターの管理 ・譲渡会の開催と啓発パネル展示 ・資金を確保するための物品販売 ・里親への飼育方法のレクチャーやアフターフォロー
年間決算額	6,545,829 円
補助金の状況	団体名： 茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度： 令和5年度 補助金の名称：市民活動推進補助制度

- 備考 1 「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。
- 2 「補助金の状況」欄は、過去5年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

実施する事業について	保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう ・保護犬譲渡会の開催（参加者 20 人想定で 13 回） ・保護犬の世話や譲渡（年間 30 頭を想定） ・保護犬の背景と社会のあり方への情報提供（譲渡会時の広報） ・人間と犬とのより良いかかわり方の啓発や学ぶ機会の提供 終生飼養に関する講演会 60 人想定で 1 回（3 時間） ・災害時への事前の備えや、被災時の対応に関する講演会 40 人想定で 1 回（2.5 時間） 実施する事業について→折りコンテナ、蓋つきボックス、スチールラックの必要性については、印刷物を持参するにあたり汚損を防ぎながら保管や搬入出のために必要。 のぼり看板については、現在の物は老朽化しているので、わかりやすく周知をするために必要。
事業の背景について	殺処分期限のつけられた犬を救出し里親へつなげる活動をしているが、責任をもって犬を終生飼養できない飼い主や、野犬や多頭飼育崩壊などの話題を耳にしたものの自分の生活とのつながりがとらえられない市民は多い。より多くの市民に対して情報を提供することで、身近な問題としてこれらの社会問題を主体的にとらえて自分の行動を見直す機会を提供したい。それによって、人と動物がよい関係で暮らす茅ヶ崎という街づくりに貢献できると考える。また、大規模災害の予測があるので、必要な準備をするために情報提供が必要だと考える。
事業の目的や効果について	・啓発によって無責任な飼い主が減少し、動物を飼わない人からの受け入れられ方がよくなり、明るい社会づくりに役立つ。 ・個別の保護犬が家庭に迎えられて生命が救われることを知らせ、社会問題を解決していく具体的な糸口があることを伝えられる。 ・生命の重さを知ることにより、自分以外の存在に目を向ける関心の広がりを促進する。助け合いのある暮らしの大切さを伝える。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ☒チラシ・ポスター ☐パンフレットなどの刊行物 ☒ホームページ ☒Facebook Twitter（現 X） ☒その他の SNS（Instagram） ☒市の広報紙 ☐市の広報掲示板 ☒口頭にて伝達 ☒その他（Tstyle などの広報紙） 日常的な活動の様子を広く伝え、活動への参加希望に対応する。 譲渡会や講演会などのイベントを知らせ、参加を募る。 チラシは、イベント時に手渡しで活動の趣旨を伝える。
今後の展望について	保護犬の里親探しを進めながら、犬とのかかわりで途方にくれ、問題改善に消極的になって飼育の継続が立ちゆかなくなる飼い主を減らしたり、逸走させて犬の生命を危険にさらしたりするケースがなくなることを目指したい。また、不測の災害時により良い対応ができるよう、暮らしの中で被災前にできる準備を広く知らせたい。団体の運営に関しては、臨時的な収入に頼らず資金面で安定できるよう賛助会員制度の導入やシェルター運営の方法検討、団体の非営利活動法人化などに取り組んでいきたい。
事業の実施体制について	総括 代表者 1 人（補佐 2 人） 会計 3 人 広報（チラシ作成・発送、情報パネル作成、SNS 等の運営など） 4 人（※補佐 5 人） 【協力者】 講師 ドッグトレーナー 1 人 トリマー 1 人、動物看護師 1 人

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 団体収入	68,590	寄付などからあてる。
2 事業収入	110,000	ペット災害講演会500×40人、終生飼養講演会1,500×60人
3 補助金収入	416,000	市民活動推進補助制度
合 計	¥594,590	

支出

科 目	金 額	内 訳
1 謝金	¥60,000	講演会講師料30,000×2回
2 旅費	¥72,300	スタッフ交通費964×75(中赤羽根⇄戸塚、中赤羽根⇄鎌倉) 市外5人が年間15回分(譲渡会13回、講演会2回)
3 物品費	¥380,829	スピーカーセット14,980、ポータブル拡声器8,890、フレームパネル5個セット16,978、 折りコンテナ1,418×10、蓋つきボックス2,380×10、スチールラック7,390×4 プリンター(A3対応)47,200、インク4,966×20、プラダン(20枚入)10,388、 ラミシート(A3サイズ100枚入)2,628×10、(A4サイズ100枚入)1,303×10、 マット紙(A4サイズ100枚入り914×10、(A3サイズ100枚入)1,545×5 のぼり看板5枚ポール付セット24,558、コピー用紙(A4サイズ2500枚)3,480×10、
4 印刷費	¥38,121	★ポスター印刷5枚15,575、★A5チラシ10,000部22,546(ともにネット印刷)
5 借用費	¥43,340	講演会時の駐車場代2,640×5台、1,000×5台、講演会会場借用25,140(コミホール)
合 計	¥594,590	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。

また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	スピーカーセット ワイヤレスマイク 2本付属	14,980	月 2 回程度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	イベント時の広報活動などで、現在は借用などしながら使用している。借用せず、地声だけより広く多くの聞き手に説明ができる。		団体備品として活用
2	物品名	見積金額	使用頻度
	A3サイズ対応プリンター	47,200	常時使用
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	啓発活動資料の作成に使用。データで届いた写真類などを部数は少ないが枚数は多く、外に出向くことなく、手元で大きく印刷したい。		団体備品として使用。
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

市民活動推進補助事業企画書 令和6年 12月 20日 （あて先）茅ヶ崎市長 所在地 提出者 名称 にじカフェ 代表者氏名 代表 錢坂則子	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(1)保健、医療または福祉の増進を図る事業 (2)社会教育の推進を図る事業
事業の名称	人生を最後まで楽しむための「414 カード死生観対話会」と「大切なものを見直す終活お話会」
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和7年 4 月 1 日から 令和8年 3 月 31 日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿
- (3) その他市長が必要と認める書類

第2号様式（第7条関係）

市民活動団体概要書

名称	にじカフェ
連絡先	
設立年月日	2022年 5 月 14日
構成員数	4人（うち役員 2 人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 4 人 その他 0 人
情報の公開の方法	☒ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（ Facebook・Instagram・公式LINE ）
設立の経緯	看護師として多くの方の終末期に関わる中、やりたいことが出来ないと諦めてしまっている方がたくさんいると実感。どんな状況でも、立場でも、同じように大切にされるべきひとりの人間。病気でも、高齢者でも、身体が不自由な方も、子どもも、同じように過ごせる、やりたいを諦めない、お互い様で集える場を私たちが作ろうと決意し「にじカフェ」を設立。より地域に信頼され、関わりを持ち、貢献できるような活動をするため団体を設立しました
活動の目的	・がんでも、認知症でも、障がいがあっても、介護されていても、全ての人が偏見なく「人生を最後まで楽しむ」ことができるように、いつでも誰でも安心して過ごせる場を作って応援する。 ・地域に開かれた循環型コミュニティの場(カフェ)を通して、利用者が社会的に孤立することなく豊かな関係とつながりを保ちながら安心して暮らせるように支援をする。 ・アロマセラピーとタッチングを通して一人ひとりの本能・やりたい!を応援し、ふれることで伝わる温かな感触と日々の感謝や想いを伝えられる言葉だけでは表せないコミュニケーションツールの普及と実践
主な活動内容	・「人生を最後まで楽しむ!」を応援するコミュニティの場(カフェ)の運営 ・つながりフェスを通して、がん・介護・障害・グリーフケアなどさまざまな分野の専門家と必要としている方をつなぐ場作り ・アロマセラピーとタッチングで「香りとふれる」コミュニケーションの普及と実践 ・子どもの心とおなかを満たす場づくり ・ピンクリボン活動団体の支援や出張講座など外部とのつながりや交流・循環をうむ活動
年間決算額	790万円(2023年)
補助金の状況	団体名:茅ヶ崎市 補助金を受けた年度:R6年度 補助金の名称:市民活動推進補助金

事業計画書

実施する事業について	にじカフェ設立の目的である【人生を最後まで楽しむ!を応援する】ことを目標とし、昨年の助成事業である【414(よいし)カードを通して死生観について対話する会】の継続と【大切なものを見直す実践型の終活お話し会】の開催を実践します。 【開催概要】 「414 カードの死生観対話会」 日程: 令和7年6月未定 令和7年10月未定 (両日とも同内容) 場所: コミュニティカフェにじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20 時間: 10時～14時を予定(10時～10時30分導入 10時30分～11時30分グループワーク 11時30分～12時振り返り 12時～13時ランチ交流会 13時～14時アロマセラピーとタッチングの実践) 対象: 一般の方に加え、患者やそのご家族を支援する専門家や関心のある方を対象としています 各回15名程度まで 費用: 参加費1,000円(ランチ交流代金含) 講師: 幸ハウス富士共同代表 植竹真里さん ※414 カードとは、幸ハウス富士が作成したカードで、「最期まで自分らしく、大切なものを諦めない」ための死生観対話カード。 https://sachihouse.org/action/414card/ ※幸ハウス富士とは、静岡県富士市にある川村病院・緩和ケア病棟「いまここ」に隣接するがん患者やご家族の居場所でNPO法人幸ハウスが運営。病気になっても病人にならない社会をつくることをミッションに様々な活動をされている団体。 https://sachihouse.org/fuji/ 「大切なものを見直す実践型の終活お話し会」 日程: 令和7年7月25日(金) 令和7年11月22日(土) (両日とも同内容) 場所: コミュニティカフェにじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20 時間: 10時～14時を予定(10時～10時30分導入 10時30分～11時30分グループワーク 11時30分～12時振り返り 12時～13時ランチ交流会 13時～14時アロマセラピーとタッチングの実践) 対象: 介護や終活に関心のある一般の方に加え、患者やそのご家族を支援する専門家を対象としています 各回15名程度まで 費用: 参加費1,000円(ランチ交流代金含) 講師: なないろエンディング代表 北村郁子さん ※ランチ交流会を組み込む理由として にじカフェのカフェを始めた理由の一つとして「人が集まる場所には温かい食べ物と飲み物がある方が断然いい!!」という考えがあります。人と人が安心して心を開いて温かく交流するためには必須と考えています。学びの場では緊張もしていると思います。学びの中でみんなで同じものを食べながらお話しすることで、より心を通わせることができると考えランチ交流の時間も設けたいと思い計画しました。 ※アロマセラピーとタッチングの実践を取り組む理由として 終末期に寄り添っている時に、ご家族が患者ご本人にふれられない現実を目の当たりのしています。痩せ細っていたり、アザができやすかったり、医療用の管がついていて怖い。記憶と様子が違っているなどに加え、普段から「触れるコミュニケーション」に慣れていないことが理由
-------------------	---

	と考えられます。今まだ元気なうちから各家庭に普通にコミュニケーションツールとして日常にあるといいと私たちは思っています。また、専門職である看護師・介護士もいわゆる「スキンシップ」にはなれていると思いますが、「温かなスキンシップ＝タッチング」をする機会はほぼ無いのが現状だと感じています。 また、実際にカフェでお客様から入院中のエピソードを聞いたり、専門職の方から温かい関わりをする時間が無いのがジレンマだと聞くことが良くあります。そして私たちは、ただ「触れる(タッチング)」よりもそこに香り(アロマセラピー)があることでその場の空気や温度感が変わり、温かな感触だけではなく「想いや感謝」を伝えることができると思っています。実際に体験できる時間を設けたいと考え計画しました。 【衛生・安全管理】 ・アルコール消毒を設置 ・マスク着用、アルコール消毒については個人の判断に任せる ・車椅子の移動時、杖歩行時は介助できる体制を整える ・施設内に車椅子常備・手すりあり 【ホームページのトップページと本事業の紹介ページの作成】 ・トップページをにじカフェを知らない方にもわかりやすく変更 ・本事業の紹介ページへの誘導とわかりやすい内容でお申込者が簡単に申し込めるように作成
事業の背景について	・日本では「死」について話すことは一般的にタブーでネガティブなものと捉えがちだと感じています。ですが、死を見据えて考えることで「今」どのように生きるのか、自分が大切にしたいことは何なのかに気づくことができ、その考えをご家族や周りの支援する方々と共有することで、その人らしくを全うできるのではないかと感じています。 ・患者支援で関わる看護師や介護士も業務に追われる日々で、目指す関わりができないと疲弊しやめていく人が少なくないのも事実 ・ご家族の中には元気なうちにどうしたいのか聞いておけばよかったと話される方もいます。 ※死ぬことについてばかり書いていますが、死を見据えるからこそ今大切なものに気づき、今を輝かせることができる。そう生きることができる人が増えることを願います。 にじカフェは【人生を最後まで楽しむ!】を応援するコミュニティの場。その一つのきっかけとなるようふたつのテーマで今回の事業を計画しました。 【ホームページの修正について】 ・ホームページのトップページ修正と本事業の紹介ページを作成する理由としてはR6年度のげんき基金事業を実践し、また普段からお客様からの声としてホームページがわかりにくく、申し込みをどのようにしたら良いのかわからなかったとのご意見を多数いただいています。トップページに関しては(他のページもですが)何度も修正してきました。元々にじカフェでは多数の活動をしているために、私たち自身もお伝えすることが難しいなと感じることも多々あります。
事業の目的や効果について	「414 カードの死生観対話会」 私たちは生まれた時から死に向かって生き、死は全ての人に平等に訪れます。その間の今生きている時間をどのように過ごすのかはその人次第。「最後に会いたいのは誰ですか?」「その時何をしていますか?」「どこにいますか?」「あなたの大切なものは何ですか?」「人生の最後をどのように向かえたいですか?」「棺桶には何を入れてもらいますか?」「それを誰に伝えますか?」「自分が大切にしているものをどのように、誰に継承しますか?」 そのような自分との対話を通して、またグループワークで他の人の考え方を聞きながら一人ひとりが大切にしたいことに気づく。気づくからこそやりたいことを諦めないで今を大切に生きることができるのではないかと考えています。

	「大切なものを見直す実践型の終活お話し会」 そして、想いに気づくだけでは自分らしく生き切ることはできないとも考えています。想いや考えを何かしらの形で目に見えるように自分にも人にもわかるように整え、どのような人生の幕仕舞いをするのかを示しておく必要があると考えます。実際に昨年の事業で参加された方に伺うといただいたエンディングノートには何も書いていないというのが現状です。本事業ではその幅広い内容の中から、実際にエンディングノートに書き記せるようなワークショップを含めた内容にしたいと考えています。 ご本人も、その方の大切な人にも後悔を残さないために、心の中を理解する機会を作りたい。特に患者や高齢者そのご家族の側で寄り添う専門家の方々にカードや終活のお話し会でのワークショップを通して死生観について考え、寄り添いケアにも役立てて欲しいと願っています。 ・ホームページが見やすくわかりやすくなる事で、本事業や他の事業への興味・関心を促し、必要な所で一人ひとりがつながることができ、またつながることのできる安心なコミュニティの場となると考えます。
事業の広報について	(使用予定の媒体にチェック) ☒チラシ・ポスター ☐パンフレットなどの刊行物 ☒ホームページ ☒Facebook ☐Twitter ☒その他のSNS (インスタグラム) ☐市の広報紙 ☐市の広報掲示板 ☒口頭にて伝達 ☐その他 () チラシの配架計画(5月・9月の2回、各回500部印刷予定・各所10部ずつ配架) ・茅ヶ崎市地域福祉課 ・ちがさき市民活動サポートセンター ・市内各地域包括支援センター ・市内福祉・看護関連事業所等 ・茅ヶ崎市社会福祉協議 ・この他関連する活動をしている市民活動団体などを予定
今後の展望について	・414カードを通した死生観のお話し会を継続。医療や介護・障がいの現場だけに留まらず、みんなが死生観について対話できる場を作りたいと考えます ・エンディングノートを持っているだけではなく実際に内容を書き込む人が増えるように継続したいと考えます。 ・にじカフェ内で自然と死生観について話ができるようになるように環境を作りたいと考えます。 ・にじカフェスタッフ内でも414カードのお話し会を主催できるように学びを続けます(専門家を招致せず自力運営できることを目指します) ・ランチ交流会でにじカフェの発酵ランチを体験していただくことでカフェに来店する機会が増えることを期待しています。(自力運営につながると考えます) ・思い立った時にいつでもにじカフェにお越しくださることで、その時にいる方々と「つながる」ことができ、地域からの孤立を避け社会の一員として生活している実感を得ることができるよう場として存続し続ける努力をします。 ・公が出来る事、私たちが出来る事、が補い合って地域の方々の福祉の底上げになれることを願っています。
事業の実施体制について	総括 代表者 1人 会計 1人 広報 (チラシ作成・配架・SNSなどの運営) 4人 当日の運営 4人 【協力者】 講師 幸ハウス富士 植竹真理さん (2回開催) 講師 なないろエンディング 北村郁子さん (2回開催)

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1. 補助金収入	358,000円	市民活動推進補助制度
2. 参加費	60,000円	1,000円(内750円は食材費) ×15名×4回
3. 団体収入	30,362円	団体負担金
合計	448,362円	

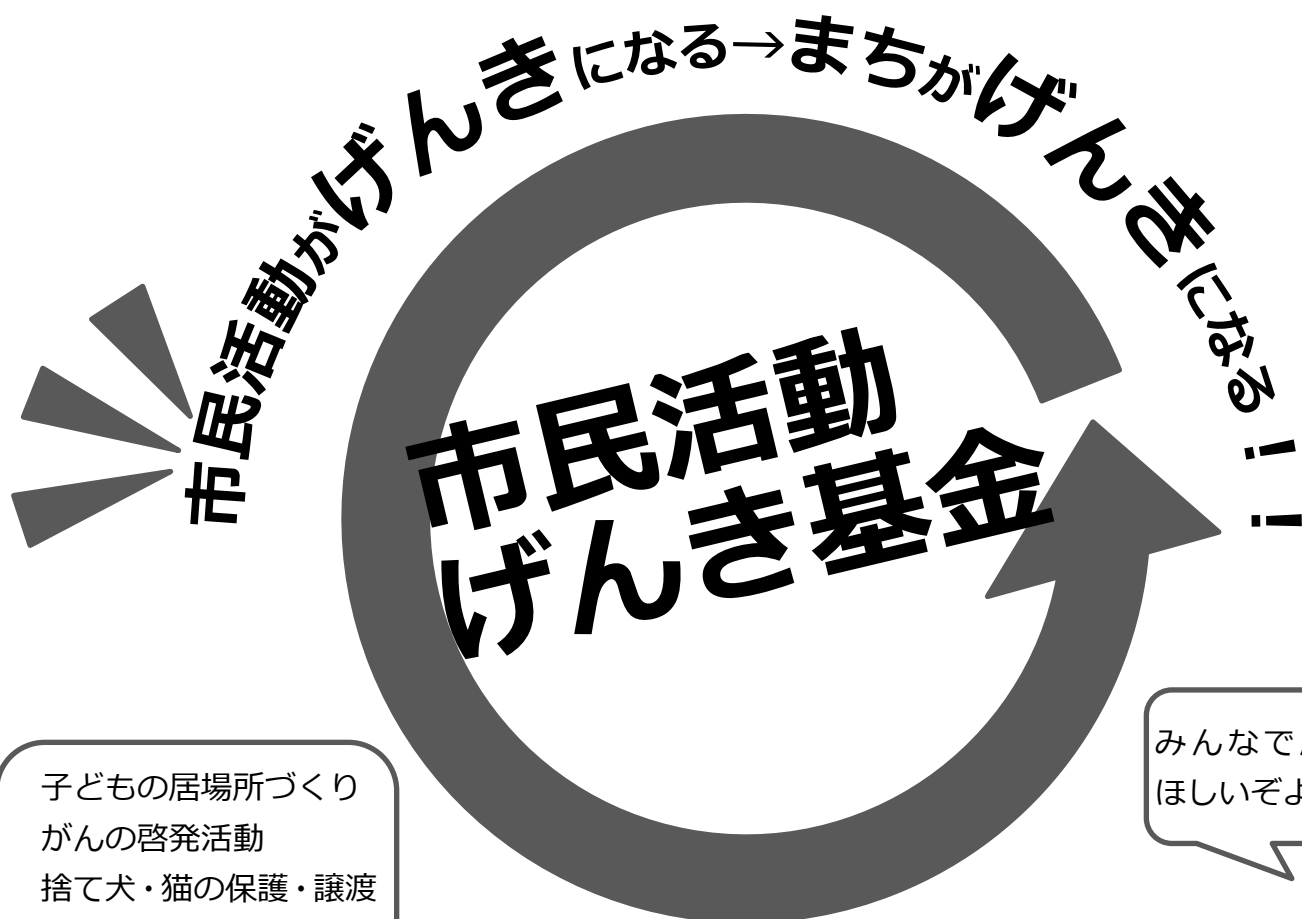
支出

科 目	金 額	内 訳
1. 謝金	93,920円	・講演費用（20,000円×4回） ・414講師の交通費 JR富士駅からJR茅ヶ崎駅 （往復6,560円×2回新幹線含） ・終活講師の交通費 JR藤沢駅からJR茅ヶ崎駅 （往復400円×2回）
2. 物品費	9,386円	・クリアファイル 978円×3 A4 0.15mm 100枚入り(モノタロウ) （15人×4回・郵送用44ヶ所×4回） ・コピー用紙 527円×2 A4 白500枚入り(モノタロウ) ・A4 茶封筒 599円×2 1パック100枚入(モノタロウ) ・ランチ容器 4,200円 70円×15名×4回
3. チラシ作成費	90,000円	・作成費 414用・終活用・裏面のにじ カフェ用の3ページ代 （両面で作成・データ含む） ※ジェイセンス
4. チラシ印刷費	17,040円	プリントパック A4光沢紙厚み標準両面 （注文時に変動あり） 500部4,260円×4回
5. チラシ郵送費	31,680円	180円×44ヶ所×4回 （A4 10枚・クリアファイル）
6. ホームページ修正費	100,000円	トップページ・イベント案内ページ ※ジェイセンス
7. プロジェクター購入費	61,336円	アマゾン エプソン ビジネスプロジェクター 液晶 3 7001m WXGA 2.5kg EB-W06 hdmi
8. ランチ交流会食材費	45,000円	一人750円×参加者15名分×4回
合計	448,362円	

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	エプソン ビジネスプロジェクター EB-W06	61,336円	年4回
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	・講師が作成したパワーポイントの資料を表示 ・画面に表示される視覚情報があることで、話で聞くよりも理解が深まると考えられるため		本事業以外にも介護のお話会やつながりフェス(がん・障害・グリーフケアなど)の開催時に使用する予定
2	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い



子どもの居場所づくり
がんの啓発活動
捨て犬・猫の保護・譲渡
文化の伝承
学習支援 etc...

みんなで応援して
ほしいぞよ!!



茅ヶ崎市では、

様々な課題に取り組む市民活動を支援するため、
寄附を募集しています。

多くの皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

寄附は本庁舎4階 市民自治推進課窓口でも随時受付しております。

寄附に関するお問い合わせ

電話

0467-81-7126



パソコン

茅ヶ崎市 C1007785

検索

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/shiminsanka/genki/index.html>

茅ヶ崎市くらし安心部市民自治推進課協働推進担当